

作成日： 2026年 2月 18日（第2版）

西暦2016年1月～2025年12月の間に中咽頭癌に対し

抗がん剤と放射線を併用して治療を受けられた方へ

「中咽頭癌に対する化学放射線治療*1における骨髄抑制と放射線治療の

関連解析：単施設後ろ向き観察研究」へのご協力をお願い

1 研究の概要

【研究の背景・目的】

近年、わが国における中咽頭癌の新規罹患患者数は増加傾向にあります。中咽頭癌に対する根治的な治療法として、抗がん剤と放射線を併用した「化学放射線治療」*1が挙げられます。

この化学放射線治療に伴う副作用の一つとして、「骨髄抑制」があります。これは赤血球や白血球などの血球成分の減少を引き起こし、その結果として貧血や感染症のリスクが増大し、場合によっては生命を脅かす可能性があるため、十分な管理が求められます。血球成分は主に頭蓋骨、椎体骨、胸骨、骨盤骨などの体幹骨の骨髄で産生されています。これらの骨に放射線が照射されることにより、血球成分の減少が引き起こされることが知られています。適切な治療を行わなければ重篤な骨髄障害を引き起こし、致命的となる可能性があります。中咽頭癌に対する根治的な放射線治療では頭蓋骨や頸椎に広範囲にわたって放射線が照射されるため、骨髄への影響は無視できないと考えられます。

例えば骨髄産生が最も活発な骨盤骨に沢山の放射線が照射される子宮頸癌の放射線治療では、骨へ照射される放射線量と骨髄抑制との関連性について複数の研究報告があります。しかし、中咽頭癌における同様の研究は極めて限られているのが現状です。

そこで我々は、未だ十分に解明されていない中咽頭癌に対する化学放射線治療における骨髄抑制と放射線治療、特に骨への照射線量との関連性を明らかにすることを目的とし、研究を行います。

【研究の対象となる方】

以下の項目の全てが当てはまる方が対象となります。

- 原発性の中咽頭癌と組織学的に確定診断された方
- 年齢が20歳以上
- 根治的な化学放射線治療が施行された方
- 2016年1月1日から2025年12月31日までに化学放射線治療を受け、かつ治療開始から15週が経過した方

【研究期間】

この研究の実施を許可された日から西暦 2027 年 12 月 31 日まで

ご自身またはご家族がこの研究の対象者に該当すると思われる方で、ご質問等がある場合は、「7 相談やお問合せがある場合の連絡先」へご連絡ください。また、情報をこの研究に使ってほしくない場合もご連絡ください。その時点であなたの情報を研究対象から取り除きます。ただし、研究の進捗状況によっては、あなたの情報を取り除くことができない場合があります。

この研究は、名古屋市立大学医学系研究倫理審査委員会の審査を受け承認されたうえで、研究機関の長から実施の許可を受けています。また、この研究が適正に実施されているか、継続して審査を受けます。

この委員会にかかわる規程等は、以下の Web サイトでご確認いただけます。

【名古屋市立大学病院臨床研究開発支援センター “患者の皆様へ”】

URL : <https://ncu-cr.jp/patient>

2 研究の方法

この研究では、研究対象の方の診療情報を電子カルテから収集して利用します。名古屋市立大学においてデータを取りまとめ、解析を行います。研究で使用する情報は、名古屋市立大学が責任を持って管理します。

3 この研究で用いるあなたの情報の内容について

この研究では、あなたが受けた化学放射線治療開始日から 15 週までの、以下の診療情報を利用します。

- 背景情報：年齢、性別、身長・体重、パフォーマンスステータス、現病歴、既往歴、病期、組織学的検査
- 放射線治療に関する情報：治療開始日、治療終了日、総線量・1 回線量、照射方法、照射部位、線量分布、骨への照射線量、照射野体積
- 化学療法に関する情報：治療薬、投与量、投与日、投与回数
- 血液検査所見：以下各項目の推移と CTCAE グレード（副作用の重症度）・・・白血球数、好中球数、リンパ球数、血小板数、ヘモグロビン値、eGFR
- 支持療法に関する情報：輸血内容（輸血の種類、輸血回数）、G-CSF（顆粒球コロニー刺激因子）投与回数

4 研究の実施体制

この研究は、名古屋市立大学が単独で実施します。

研究責任者：医学研究科 放射線医学分野 岡崎大

5 個人情報等の取り扱いについて

あなたの情報は、氏名等の個人を特定する内容を削除し、代わりに符号をつけた状態で取り扱います。あなたの氏名等とこの符号とを結びつける対応表は厳重に管理

し、個人を特定する情報を外部に提供することはありません。また、この研究の成果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、その際も、そこに含まれるデータがあなたのものであると特定されることはありません。

6 この研究の資金源および利益相反について

企業等の関与により研究の公正さが損なわれる可能性がある状態のことを、「利益相反」といいます。企業等から研究資金の提供を受けている場合等には、利益相反を適切に管理する必要があります。

この研究は、企業等からの資金の提供はありません。利益相反の状況については、名古屋市立大学大学院医学研究科医学研究等利益相反委員会に必要事項を申告し、適切に管理しています。

7 相談やお問合せがある場合の連絡先

この研究について知りたいことや、ご心配なことがありましたら、遠慮なくご相談ください。また、この研究の計画について詳しくお知りになりたい場合は、研究に参加している他の方の個人情報や研究の知的財産等に影響しない範囲で、資料をお渡ししたり、お見せしたりすることが可能です。

また、この研究にあなたの情報が利用されることを希望されない場合は、電話によりご連絡ください。

【連絡先】

名古屋市立大学大学院医学研究科 放射線医学分野

電話番号： 052-853-8276

(対応可能な時間帯) 平日 9時から 17時まで

対応者： 岡崎大